

ガイダンス

1. 講義の予定

10月06日(木)	国外出張のため休講
10月13日(木)	第1回目 ガイダンス, 総論・建築環境
10月20日(木)	第2回目 熱環境(その1・温度と熱移動)
10月27日(木)	第3回目 熱環境(その2・室温と熱負荷, 断熱と気密と結露)
11月03日(木)	祝日
11月10日(木)	第4回目 熱環境(その3・環境と人体の熱平衡, 温熱環境の計測と設計目標)
11月17日(木)	第5回目 熱環境(その4・太陽の動き, 影と日照)
11月24日(木)	第6回目 熱環境(その5・日射の利用と遮蔽, 太陽放射と地球放射)
12月01日(木)	第7回目 光環境(その1・照明の基本的考え方, 昼光照明と電灯照明)
12月08日(木)	第8回目 光環境(その2・色彩計画の基本)
12月15日(木)	第9回目 空気環境(その1・汚染質濃度と換気, 室内気流と換気の効率)
12月22日(木)	第10回目 空気環境(その2・換気と通風の力学, 換気と通風の計画, 気密性能と換気)
01月12日(木)	第11回目 音環境(その1・音の基礎)
01月19日(木)	第12回目 音環境(その2・音の応用, 騒音と振動)
01月26日(木)	第13回目 予備日
02月02日(木)?	第14回目 定期試験(日程変更の可能性あり)

注) 上記のスケジュールは、あくまで予定です。皆さんの理解度に応じて、また進行状況について検討を加えた結果、予定が変更になることもあります。注意してください。

2. 教科書

- ・環境工学教科書研究会編著「環境工学教科書 第二版」（彰国社，¥3,500＋税，ISBN:4-395-00516-0）
- ・その他の参考文献については、講義の中で適宜紹介するか、もしくは配付資料に載せる予定です。

3. 講義の進め方

- ・单元ごとに一括して穴埋め式の資料を配布する予定です（少なくとも、次の回の講義の資料を前の回の講義で配布する予定です）。ノートを作成するか否かは各自の自由です。
- ・講義の時間中に、空欄を埋めるだけで満足しないでください。講義は単なる答え合わせの時間ではありません。この講義では、配付資料の空欄を埋める語句に関連した様々な解説を行う予定です。それらを配付資料に書き込むなり、ノートを取るなりして、自ら主体的に講義内容の理解を進めてください。
- ・講義への出席の際には、講義が予定されている範囲の予習を行うことを求めます。講義しなければならぬ分量が多く、予習を前提としなければ、全ての範囲を終えることができないからです。場合によっては、講義中に、回答を求めることもありますので、必ず予習を行ってから講義に参加するようにしてください。
- ・基本は、板書です。ただし、第8回目の「光環境（その2・色彩計画の基本）」では液晶プロジェクタを使用する予定です。
- ・講義で配布する資料などは、できるだけ下記のホームページにアップロードしておくので、必要な人や欠席した人は、各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/genron.html/setubigen.html>

- ・講義の後で、できるだけ復習のために演習問題を配付します。次の講義の際に提出してください。採点して次の次の講義の際に返却する予定です。不明な点は、是非質問してください。なお、解答は、原則として配布しません。ただし、採点方法などについては変更する可能性があります。
- ・各自で、関数電卓を準備してください（メーカーや型番は、特には指定しません）。演習問題では三角関数や指数関数の計算を行うことがあります。
- ・内容が盛りだくさんですので、できるだけ毎回出席してください。担当者もできるだけ一回の

講義ごとに完結した内容にするように心がけますが、科目の特性から無理な場合もあります。欠席が続けば、講義の内容を理解することが難しいと考えられます。

4. 成績の評価

- 1) 出席点、演習問題の提出状況ならびに定期試験（筆記試験）の結果を総合して、評価します。
- 2) 出席点と演習問題の提出点が約3～4割、定期試験（筆記試験）が約6～7割として評価する予定です。
- 3) 定期試験の際の持ち込みの可否や定期試験の形式については、講義の進捗状況や皆さんの理解度などに応じて検討し、試験が近くなってから伝達します。昨年度のやり方を踏襲する可能性もありますが、大幅に変更する可能性もあります。

5. 担当者

担当者の連絡先などは、以下の通りです。質問、演習問題の提出などは、下記の担当者まで。

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・岡本 孝美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線482）

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

7. その他の注意

- ・担当教員（辻原）に対して生理的嫌悪感などを覚える場合には、その時点でその旨を申し出てください。担当教員（辻原）自身の努力で改善されるような内容であれば、極力改善するよう努めます。しかし、担当教員（辻原）自身による改善が難しくなかつ正当だと考えられる理由を書面で提出した場合には、成績評価の際に、出席点に関する考慮を行います。ただし、その場合でも定期試験（筆記試験）は、受験してください。
- ・授業時間以外で、担当者に質問をする際には、メールや電話で事前に連絡した方が確実に時間

を確保できます。担当教員のオフィスアワーは木曜日5時限（16:10～17:40）ですが、この時間帯といえども緊急の会議などの用事が入る可能性もあります。事前に連絡がない場合は、やむを得ず対応できない可能性もあります。なお、特に携帯からメールを送る際には、送り主の氏名を明記することを忘れないでください。送り主が明記されていないメールには返答しないこともあります。

- ・担当教員はできるかぎり標準語で話すように努めていますが、これまでの習慣上どうしても関西弁で話してしまうこともあります。しかし、漫才師などではありませんので、面白い話はできません。
- ・その日の進み具合によっては、講義の時間を延長することもあります。16:00のチャイムが鳴った後、やむを得ない事情がある場合は、退室することを認めます。ただし、16:10以降には小講義室2を別の講義で使用していますので、延長時間は最大限10分間のみです。この点に充分注意し、その後の予定を組んでください。
- ・授業などの説明の際には、できるかぎり具体的な事例を交えて説明するように心がけていますが、これが雑談に聞こえる場合、もしくは本当に単なる雑談の場合で、それ以上聞きたくないと思われる場合は遠慮なく指摘してください。速やかに次の説明に移るように努力します。